

No. _____

RESCUE REPORT



海岸(海水浴場 ☐ 内 ☐ 外) (西暦) 年 月 日

(A):全ての救急要請事案で記入
(B):レスキュー事案の場合に記入
(C):心肺停止事案の場合に記入

クラブ名 _____ 報告者 _____

◆(A)傷病者情報 ☐ 男 ☐ 女 ☐ 不明 枠内は水中のレスキュー事案のみ記入

行為	自然要因	個人要因	時間経過
(A):全ての救急要請事案で記入 (B):レスキュー事案の場合に記入 (C):心肺停止事案の場合に記入	流に流される 流に流される 巻かれる 流される 急深にはまる	☐ 飲酒(あり・なし・不明) 飲酒の有無について 該当するものに○をつける	事故発生 (:) 発生の覚知 (:) ライフセーバー接触 (:) 救護活動開始 (:) 救急車要請 (:) 救急車到着 (:) 救急車現場出発 (:)
☐ ヒートでの遊び ☐ その他()	☐ その他()		
主な訴え	傷病詳細(複数回答可)		
救急要請に至った要因。 傷病者が最も強く訴える症状、 または意識障害、ショック、 発熱、泥酔、溺水など	☐ 溺水 ☐ 心肺停止 ☐ 意識障害 ☐ 頸髄・頸椎損傷 ☐ 骨折 ☐ 打撲 ☐ 過傷 ☐ 切創 ☐ 挫傷 ☐ 離れ ☐ 爪はがれ ☐ 嘔吐 ☐ 痙攣 ☐ 過呼吸 ☐ その他 ☐ 鼻出血 ☐ 歯の損傷 ☐ 脳卒中 ☐ 脳震盪 ☐ その他()		
☐ 水中 ☐ 砂浜 ☐ 駐車場 ☐ その他()	☐ その他()		

◆(A)事故発生概要(傷病者・関係者や周囲の遊泳者からのヒアリング)

事故・急病の発生状況、事故概要、飲酒の有無、アレルギーの有無、飲んでいる薬の有無など

いつ、どこで、だれが、どうしたか。

◆(A)状況・経過を簡潔にまとめて記入する。

☐ ライフセーバー ☐ 友人・一般人 ☐ その他()

◆(A)対応ライフセーバー人数と有資格者数等

対応者数 _____ 人(あくまでライフセーバーとして関わった人の情報のみ記入(一般客で活動を
医療関係資格所持 手伝った人や救急隊として駆けつけた救急救命士は数に含めない))

◆(A)使用救助器材(複数回答可)

☐ フィン有レスキューチューブ ☐ フィン無レスキューチューブ ☐ レ
☐ IRB ☐ 水上オートバイ ☐ なし
☐ 感染防護具(なし・使い捨て手袋・ポケットマスク・フェイスシールド その他)
☐ バックバルブマスク ☐ AED ☐ 吸引器 ☐ ネックカラー ☐ 血圧計
☐ バックボード ☐ 担架 ☐ 毛布 ☐ 水 ☐ その他()

使用した感染防護具に
○をする

◆(A)実施処置(複数回答可)

☐ 気道異物除去 ☐ 気道確保(方法) ☐ 保温
☐ 体位管理(体位:) ☐ 洗浄 ☐ 止血 ☐ ガーゼ
☐ 保護包帯 ☐ 絆創膏 ☐ 安静 ☐ 冷却 ☐ 拳
☐ 副子固定 ☐ 頸部固定
☐ CPR(人工呼吸 有・無) ☐ AED(ショック実施回数 _____ 回)

AEDは装着したら
「使用」とする

AEDショック不要の場合は
「0回」と記入

◆(A)救助時の気象・海況・監視条件など

天気 _____ 気温 _____ °C 水温 _____ °C 風向 _____
風力 _____ 警報・注意報 _____ 波高 _____ m

利用者数 _____ ライフセーバー数 _____

波の種類 ☐ 崩れ波 ☐ 巻き波 ☐ 砕け寄せ波 遊泳条件 ☐ 可 ☐ 注意 ☐ 禁止

◆(B)救助位置と海岸条件

図示する項目:① 救助位置 ② 警備本部, タ
③ 離岸流、沿岸流等の流れ ④ 碎波位置

当該傷病者が発生した時の情報を記入

(A):全ての救急要請事案で記入
(B):レスキュー事案の場合に記入
(C):心肺停止事案の場合に記入

波打ち際からの距離	m
水深	m
流向	
流速	m/s

事故や急病が発生した場所
が遊泳エリア内か外か(水中、
砂浜)も記入

◆(B)海上保安庁 / 消防(救助)/ 警察 の要請・対応

海上保安庁の対応 有・無 消防(救助)の対応 有・無 警察の対応 有・無

要請者 ライフセーバー ・ その他()

内容(有の場合に記入) / 要請者「その他」の場合には、要請までの流れ、方法など具体的な内容を記入

【記入例1】海上保安庁の捜索艇(水上バイク)1艇により捜索実施
〇:〇〇ごろ保安庁水上バイクにて溺者発見、ビーチにて待機していた
救急隊へ引き継ぎ

◆(B)or(C)救助/救護対応

【記入例2】119要請時点で消防署から警察に連絡が入り警察が出動
(ライフセーバーによる110番通報は無し)

時刻	救助・救護 現場や家族関係者の状況等	観察結果	救急隊情報(要請,到着等)
		観察時刻(:) 意識JCS() 呼吸 無・有()回/分 脈拍 無・有()回/分 その他:	
	目撃時・事故発生時の状況から記載する 【記入例】 11:15 波打ち際から20mほど沖にくらげ浮き になっている傷病者をライフセーバーAが発見。 11:16 本部へ報告し救助へ向かう 11:18 ライフセーバーが傷病者に接触、ピックアップ 11:19 ビーチにて救護対応開始、心肺停止のためCPRを開 始 本部より救急車要請 11:20 AED解析→ショック不要 CPR継続 11:22 AED解析→ショック実施 友人より「11時頃に本人が海へ入っていった」 との情報あり 正常な呼吸無し、CPR継続 11:25 救急隊到着し引き継ぎ 11:30 救急隊出発(〇〇病院へ搬送)		
		観察時刻(:) 意識JCS() 呼吸 無・有()回/分 脈拍 無・有()回/分 その他:	

* 個人情報のため取り扱い注意

◆(C)心肺停止対応時記入項目

(A):全ての救急要請事案で記入
(B):レスキュー事案の場合に記入
(C):心肺停止事案の場合に記入

①目撃の有無 有・無

(有の場合) 心停止を目撃した時刻():

目撃者: ライフセーバー・家族・友人・一般客・その他

②バイスタンダーCPR(ライフセーバーが到着する前の一般市民によるCPR)の有無 有・無

(有の場合) バイスタンダーによるCPR開始時刻():

心拍再開の有無 有(心拍再開時刻:)・無

③バイスタンダーによるAEDの使用の有無 有・無

(有の場合) 除細動メッセージ 有(時刻:)・無

心拍再開の有無 有(心拍再開時刻:)・無

④ライフセーバー接触後の対応について ライフセーバー接触時刻():

1)心停止の有無 ライフセーバー接触時は心肺停止状態でしたか はい・いいえ

2)CPR開始時刻():

3)AEDの使用の有無 有・無

(有の場合) 除細動メッセージ 有(時刻:)・無

4)心拍再開の有無 有(心拍再開時刻:)・無

心拍再開後の容態について下記に記入してください

意識レベルJCS: 呼吸: 回/分 脈拍: 回/分

その他

②、③はあくまでライフセーバー到着前の一般市民を「バイスタンダー」とする。ライフセーバーが第1救助者(最初からCPRを実施)であれば②、③は「無」となる。

除細動を2回以上実施した場合は、それぞれの実施時刻を余白に記入。

⑤嘔吐の有無について

1)逆流または嘔吐はありましたか 有・無

(有の場合) 逆流または嘔吐は何回ありましたか 1回・2~3回・4~5回・6回以上

吐物の対応について、該当するものに○を付けてください

1. 体ごと横に向けて吐物をかき出した、
2. 顔だけ横に向けそのまま胸骨圧迫を続けた
3. その他 1と2両方 など具体的に記入してください

⑥救急隊到着後の経過について 救急隊接触時刻():

1)傷病者の容態 救急隊到着時は心肺停止状態でしたか はい・いいえ

2)救急隊到着後の心拍再開の有無 有(心拍再開時刻:)・無

(有の場合) どこで心拍再開しましたか

☐ 救急隊への引継ぎを行った現場

☐ 救急車内(現場出発前)

☐ 救急隊出発以降(可能な限り具体的に記入、またどのようにして心拍再開の情報を得たかも記入してください)

心肺停止傷病者への対応時には、時間経過の記録が必要になります。傷病者等記録票にメモをとるようにしましょう。

【記入例】 後日、家族から「病院に着いてから心拍がもどった」と連絡をいただいた

(有の場合) 1か月後の生存および1か月後の社会復帰の有無について

1か月後の生存 有・無

1か月後の社会復帰 有・無 *有の場合、どのようにして情報を得たかを具体的に下記に記入してください

【記入例】 退院後、本人が家族とともに監視所をおとずれた

*個人情報のため取り扱い注意